

# 令和5年度教育課程研究集会

中学校 技術・家庭科  
(家庭分野)

家庭分野における

「指導と評価の一体化」を進める授業改善

－「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実－

令和5年8月

奈良県教育委員会事務局

学ぶ力はぐくみ課

指導主事 岡寄 仁美

# 本日の流れ

1. 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の充実について

## 2. 実践発表

川西町・三宅町式下中学校組合立

式下中学校 仲川 拓馬先生

3. まとめ

# 育成を目指す資質・能力の三つの柱

学習する生徒の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、  
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を  
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか  
何ができるか

知識及び技能

理解していること・できる  
ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

## 家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

柱書

(1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

知識及び技能

(2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。

思考力、判断力、表現力等

(3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

学びに向かう力、人間性等

# 生活の営みに係る見方・考え方を働かせ

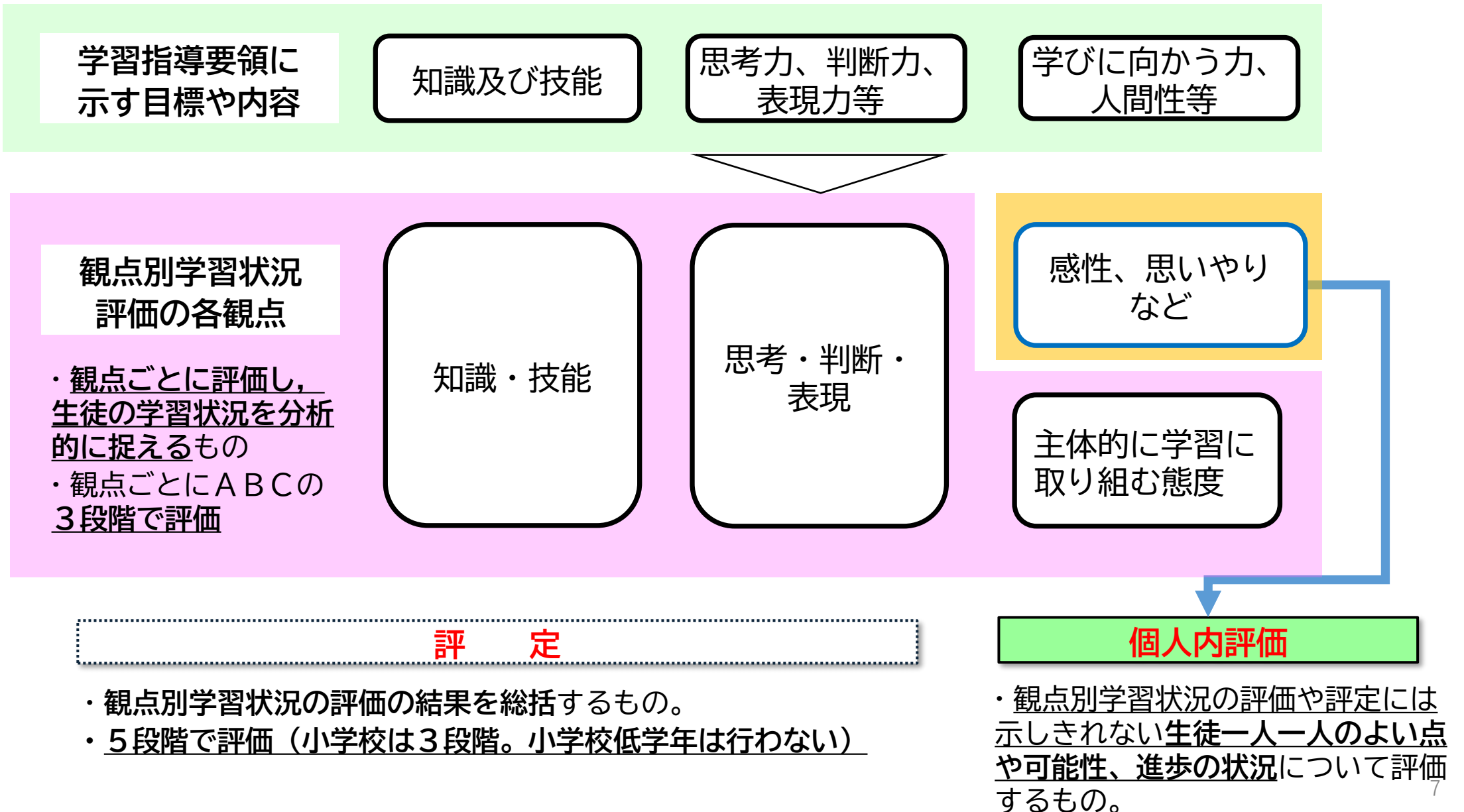
家庭分野の特質に応じた物事を捉える視点や考え方

家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、

- ・ 協力・協働
- ・ 健康・快適・安全
- ・ 生活文化の継承・創造
- ・ 持続可能な社会の構築等

の視点で捉え、生涯にわたって、自立し共に生きる生活を創造できるよう、よりよい生活を営むために工夫すること

# 各教科における評価の基本構造



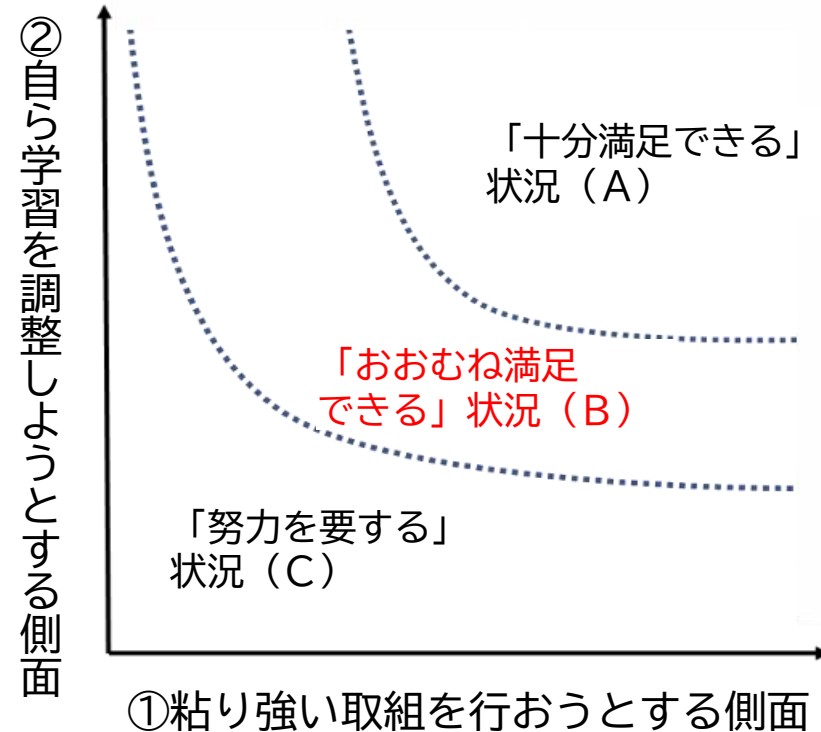
## 「主体的に学習に取り組む態度」の評価の基本的な考え方

「主体的に学習に取り組む態度」については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。

### 「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は、実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。





## (家庭分野) 主体的に学習に取り組む態度

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとしているか。

粘り強さ

- ② 粘り強い取組の中で自らの学習を調整しようとしているか。

自らの学習の調整

- ③ 生活を工夫し創造し、実践しようとしているか。

実践しようとする態度

## 評価の進め方

1  
題材の目標を  
作成する

2  
題材の評価規準を  
作成する

3  
「指導と評価の計画」  
を作成する

授業を行う

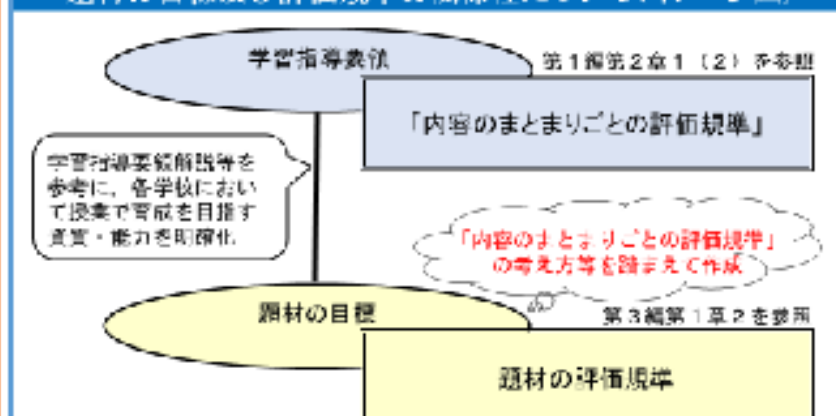
4  
観点ごとに総括する

## 留意点

- 学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 生徒の実態、前題材までの学習状況等を踏まえて作成する。

※ 題材の目標及び評価規準の関係性（イメージ）については下図参照

### 題材の目標及び評価規準の関係性について（イメージ図）



※ 外国語及び外国語活動においてはこの限りではない。

- 1, 2を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
- どのような評価資料（生徒の反応やノート、ワークシート、作品等）を基に、「おおむね満足できる」状況（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

- 3に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。

- 集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価（A, B, C）を行う。

# 式下中学校 仲川先生の実践発表より

- (1) 題材の検討
- (2) 題材の目標と作成
- (3) 題材の評価規準の作成
- (4) 題材の評価規準の学習活動に即した具体化の検討
- (5) 「指導と評価の計画」の作成
- (6) 「指導と評価の計画」に基づいた授業
- (7) 観点ごとの総括



# カリキュラム・マネジメントの一環としての指導と評価

